

一方通行ではない、相互通行の政治を

今、政治に対する関心度が非常に低くなっています。それは私たち都民の声が政策に反映をされていないからに他なりません。やはりそうした政治の体制と構造は政権交代を視野に入れた大胆な改革を断行していかななくてはならないと尾崎大介は考えます。そして、徹底した現場主義をもって、今都民が何を望んでいるのか、時代のニーズは何なのかという事を見極めた政策を皆様と一緒に創っていきたく思います。環境・福祉・教育・経済、様々な分野で私が取り組んでいく政策や活動を、街頭や駅、そして広報物を通じ、今後レポートしていきます。皆様方のご意見をどしどしお寄せください。

環 境

どんぐりの森造り

戦後復興期では、雑木材を換金に有利な杉・檜林への転換が各地で行なわれました。しかし、その後の輸入自由化により安価な外材が入るようになり、日本の山林経営は窮地に陥りました。経済価格の低くなった山林では、手入れが行き届かなくなり、荒れるにまかされた状況が各地で見られるようになりました。いまや手入れがなされていない山林は自然崩壊の元凶ともなっています。

このような状況の中で、自然保護の観点から雑木林の再生と有効活用を図るために「どんぐりの森造り」として活動することにしました。この活動を通し、小・中学生に自然保護や、親子とのふれあいの場を提供し、子どもたちに自然の持つ力を感じ取らせ「生きる力」を育ませていくことを目的としています。



2005年8月15日
民主号外
調布・狛江版
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区金田町1-11-1
電話:03-3585-9988(代表)
http://www.dpj.or.jp



東京都議会議員

尾崎大介

都議選、勝利への軌跡



山花いくお衆議院議員



この度の第17期東京都議会議員選挙は定数2名のうち3名が立候補し、激戦が展開されました。

尾崎大介は連日皆様方のご支援をいただき33461票の得票で初当選させていただきました。心より感謝申し上げます。今後は皆様のご期待に十分お応えできる様、初心を忘れず邁進する所存です。

今回の選挙戦において、かねてから訴えてきた事ですが、都議

会の仕事はなかなか見えにくく、関心度も低い選挙です。しかし、私達都民の生活と都政は非常に密着をしております。私は、東京10ビジョンという政策を掲げ、これからの時代を担っていく私達の世代が、真剣に東京の将来像、そして日本の未来を考える時期であると一貫して訴えて参りました。

これからの活動の上で、「見える都政」をめざし、地域政策を含めた形で政策実現に向け、邁進してまいります。

そして、市政、都政、国政の連携を強化し、真に都民の皆様方に納得していただける政治を行なって参ります。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

尾崎大介 (民・新)	25,056	8,405	33,461
遠藤まもる (自・現)	24,517	9,390	33,907
田中ともこ (共・元)	15,105	7,463	22,568

尾崎大介 プロフィール

- 1974年2月15日 東京都生まれ
- 日本大学農獣医学部卒業
- 一般企業入社後、サラリーマンを経て、第42回総選挙の山花郁夫選挙に関わり、公設第一秘書となる。
- NPO法人エコクラブ(環境)の設立に参画(現在)
- 測量士・宅地建物取引主任者
- NPO法人日本エコクラブ
DAIGO どんぐり銀行調布支店長
- 調布市飛田給に妻と在住
- 2005年7月 第17期東京都議会議員選挙初当選

後援会より皆様へお願い

- ① **お知り合いをご紹介下さい**
調布市・狛江市にお住まいのご友人・お知り合いの方をご紹介ください。
- ② **ボランティアスタッフを募集しています**
発送物の封入作業やビラの配布など、お手伝いいただける方をお待ちしています。
- ③ **ポスターの掲示のお願い**
ご自宅や職場に尾崎大介(民主党)のポスターを掲示してください。
- ④ **尾崎大介後援会ご入会のお願い**
尾崎大介の活動を支えていただくため後援会にご入会ください。

〒182-0026
東京都調布市小島町1-12-7-3F
TEL&FAX 0424-98-8030
<http://www.ozakidaisuke.com>
ozaki-dai@luck.ocn.ne.jp

東京都議会議員

尾崎大介

事務所